

## 平成30年度事業計画

当協会は、公益社団法人として国民の快適な生活環境の形成に寄与することを目的に、「家庭園芸普及及び啓発のための各種事業」を行うこととしている。具体的な事業計画は、定款第4条に記載した事業ごとに以下のように分類される。

- ・グリーンアドバイザー(GA)認定業務
- ・家庭園芸に関する講習会・講演会
- ・日本フラワー&ガーデンショウの開催
- ・家庭園芸に関する調査・研究
- ・家庭園芸に関する情報提供
- ・家庭園芸に関する国際交流推進活動
- ・家庭園芸に関する緑化体験活動
- ・その他（この法人の目的を達成するために必要な事業）

### 1. グリーンアドバイザー認定事業

家庭園芸全般にわたり幅広く適切な指導や助言のできる人を「グリーンアドバイザー（以下GAという）」として認定し、家庭園芸の普及・啓発の任に当たってもらうことを目的として、GA認定講習・試験を実施する。また、GAの社会的認知度アップのための広報や、GA個人の研鑽のための各種アフターフォローを行う。

#### (1) 第27回講習・試験

平成30年度のGA受講・受験は、以下の日程・会場で実施する。

| 会場    | 日程              | 場所           | 募集定員 |
|-------|-----------------|--------------|------|
| 東京A会場 | 8月21日(火)・22日(水) | ホテルイースト21 東京 | 300名 |
| 大阪会場  | 8月27日(月)・28日(火) | 大阪ガーデンパレス    | 250名 |
| 東京B会場 | 9月5日(水)・6日(木)   | ホテルイースト21 東京 | 300名 |
|       |                 | 募集合計         | 850名 |

#### (2) GA認定更新

GA資格の有効期限は5年で、所定の手続きにより更新できる。

本年度の更新対象者は、2,586名。内訳は以下の通り。

認定更新の申込み受付は、平成30年9月から10月まで実施する。

| 更新回数  | 更新対象登録者     | 更新対象者数 |
|-------|-------------|--------|
| 初回更新  | (第22回認定登録者) | 835名   |
| 2回目更新 | (第17回認定登録者) | 647名   |
| 3回目更新 | (第12回認定登録者) | 542名   |
| 4回目更新 | (第7回認定登録者)  | 357名   |
| 5回目更新 | (第2回認定登録者)  | 205名   |

## 更新対象者講習会について

以下の会場・日程で更新者を対象とした講習を実施する。

|      |             |            |
|------|-------------|------------|
| 東京会場 | ホテルイースト21東京 | 8月21日(火)午後 |
| 大阪会場 | 大阪ガーデンパレス   | 8月27日(月)午後 |

本講習会は、原則として初回更新者の更新のための要件として位置づけたものであるが、その他のGAも希望すれば受講できることとしている。

### (3) グリーンアドバイザー園芸CPD制度

グリーンアドバイザー園芸CPD制度は、GA個人から協会に自己申告された日々の活動報告をもとに、協会の基準によりポイントを付与して評価する制度で、累積されたポイントにより各種称号が授与される。

平成30年1月までに本制度に登録を済ませたGAは1,655名である。

各種称号取得者数は以下の通り。

| 称号               | ポイント数  | 称号取得者数 |
|------------------|--------|--------|
| グリーンアドバイザー園芸ソムリエ | 2700以上 | 29名    |
| プラチナグリーンアドバイザー   | 900以上  | 131名   |
| ゴールドグリーンアドバイザー   | 300以上  | 291名   |
| スーパーグリーンアドバイザー   | 100以上  | 613名   |

### (4) GA資格登録者の活動への支援方策

- ① 「GAコミュニケーション」の定期発行、協会ホームページ（GA専用ページ等）の内容の充実、「GAの会」の育成と活用、GA認定制度の一般に向けた広報宣伝等により支援する。
- ② 平成25年度に立ち上げた「GAのいる店」登録制度のさらなる拡大を目指す。
- ③ 更新レポートの優秀作を選抜し協会刊行物等で紹介することによって、GA一人一人が持っている経験やアイデアを発表し、園芸の普及に寄与する場を提供する。
- ④ 地方のGAを支援するためのセミナーを実施する。

## 2. 家庭園芸に関する講習会・講演会事業

家庭園芸に関心のある人、家庭園芸の知識や技能の向上を目指す人などを対象として、広く家庭園芸に関する基礎及び専門知識の普及・啓発を行うことを目的に、講習会、講演会等を実施する。

### (1) 「家庭園芸実践スキルアップセミナー」の開催

家庭園芸に関心のある人、家庭園芸の知識や技能の向上を目指す人などを対象として、広く家庭園芸に関する基礎及び実践的な専門知識の普及・啓発を行うことを目的に、一連のシリーズとして年間3回を目処に講習会を実施する。

- ・定員： 30～50名程度

## (2) 2018 日本フラワー&ガーデンショウにおける園芸セミナーの開催

当協会が主催する日本フラワー&ガーデンショウにおける来場者を対象に、主に家庭園芸に関心のある人、これから家庭園芸に親しもうという人に向けて、基礎から専門的知識まで、幅広く家庭園芸の普及・啓発を行うことを目的に、家庭園芸に関する講演会を実施する。

## (3) 会員等に対する特別講演会の開催

6月6日定時社員総会において、主に会員及び園芸関係者等を対象とした特別講演会を実施する。

### 3. 日本フラワー&ガーデンショウ事業

#### (1) 第28回 2018 日本フラワー&ガーデンショウの開催

家庭園芸の普及と底辺拡大を目的とし、花と緑に関する様々な展示や商品の販売、最新情報の提供、各種体験型イベントの実施等を通じ、ビギナーから愛好家まで、世代を超えて楽しめる「総合園芸パブリックショウ」として開催する。

本年度は4月20日からの3日間横浜市で開催する。

#### < 第28回 2018 日本フラワー&ガーデンショウ概要 (予定) >

- ・開催日程： 2018年4月20日(金)～22日(日)
- ・開催時間： 午前10:00～午後5:00 ※22日(最終日)は午後4:00まで
- ・会場： パシフィコ横浜 展示ホールA・B
- ・来場者数： 約80,000人(見込)
- ・入場料金： 800円 (中学生以下無料)
- ・主な出展団体・企業： 植物生産・販売関連企業(種苗・球根、鉢花、切り花、観葉植物、植木等)、肥料・用土・園芸薬品関連企業、園芸資材関連企業、造園関連企業、設計関連企業(造園設計、ガーデンデザイン等)、農協・生産者組合、地方自治体(花き生産振興関連部署・公園関連部署等)、花・緑関連団体・NPO等

### 4. 家庭園芸に関する調査・研究

家庭園芸の普及及び啓発を目的として、一般消費者の動向に関する調査及び園芸の指導・助言者であるグリーンアドバイザーの活動の実態を把握するための調査等を実施する。

#### (1) 「花と緑に関するアンケート」の実施

家庭園芸全般の発展に寄与するため、継続的に実施している自主調査「家庭園芸普及状況調査」(花と緑に関するアンケート)を実施する。

また、今後のアンケートの実施方法として、より幅広い層を対象とした調査を可能とするべく、ホームページやメールマガジンを使ったアンケートの可能性を検討する。

さらに、外部の園芸関連団体や企業が保有する調査データを収集・集約して活用するといった幅広い調査のあり方について検討する。

## (2) グリーンアドバイザー（GA）の活動に関する実態調査

GA園芸CPD制度によって集められた活動報告や、GAを雇用する園芸関連企業に対して実施するアンケート結果等を基に、園芸の指導・助言者としてのグリーンアドバイザーの活動の実態を把握し、得られたデータを分析して、現場での指導・助言における課題や問題点等を探るなど、家庭園芸の普及及び啓発に活用する。

## 5. 家庭園芸に関する情報提供

家庭園芸の普及及び啓発を目的として、協会が実施する各種調査結果の掲載や、家庭園芸に関する事業・催事の告知や報告、花市場からの季節の花の紹介、さらに園芸初心者のためのコラムから指導者向けの専門的な記事まで、幅広い読者を対象として家庭園芸に関する有益な情報を発信する。

園芸愛好家や消費者の情報獲得の手段が紙媒体からインターネットの検索やSNSのロコミ等へと移り変わってきている現状に対応するため、ホームページの整理・統合・内容拡充を行い、これまでの刊行物に代わる新たなデジタルメディアとして再構築する。また、メールマガジンの発行やウェブアンケートといった機能についても可能性を検討する。

## 6. 家庭園芸に関する国際交流推進活動

家庭園芸の普及及び啓発を目的として、園芸に関心のある人、さらには家庭園芸の普及啓発に携わるGAをはじめとする指導者や地域のリーダーを目指そうという人に対し、海外の進んだ園芸事情に触れる機会を提供するための幅広い手段に関し、近年の国際事情などを考慮の上有効な実施方策について検討する。

本年度は、北京で開催される国際園芸博覧会の視察調査実施方策を検討する。

## 7. 家庭園芸に関する緑花体験活動

家庭園芸の普及及び啓発を目的として、主に園芸の初心者や子供たちを対象として、植物を育てる喜びや自然環境に親しむ楽しさを体験してもらうことで、生命の大切さや自然科学・環境問題への関心を持つきっかけとする様々な「緑花」体験活動を実施する。栽培指導や助言に当たっては、いずれもGAをはじめとした専門家がこれにあたる。

### (1) たねダンゴ普及事業の展開

たねダンゴは協会が展開している東日本大震災被災地復興支援事業から生まれた新しい種まき手法で、情操・環境教育や社会福祉の現場における有効なツールであるとともに公共緑花空間創出の有力な手法になりうる可能性を持っている。協会ではGAを中心にたねダンゴ養成講習により技術を習得した指導員のもと次のような事業を展開し、広くたねダンゴの普及を進めていく。

- ・たねダンゴによる花いっぱい事業(ガーデン、花壇、街並み)
- ・たねダンゴによる環境・情操教育・癒し事業(学校、幼稚園、保育所、病院、介護施設)
- ・たねダンゴ普及イベント事業(ショー、記念イベント、まつり)

昨年より、国土交通省が提唱する全国都市緑化フェアの協力イベントとしてたねダンゴの普及を行っている。

## (2) 全国花育活動推進事業の実施

全国花育活動推進協議会に参画し、花育活動の普及啓発に携わると同時に、協会独自の花育活動方策及び植物普及の具体的実施方法等の検討を行う。

## 8. 花と緑による復興支援活動

当協会では、平成 23 年より東日本大震災で被災された地域を花と緑で応援する「グリーンアドバイザーによる花いっぱいキャンペーン」を実施している。単に物を贈るだけの支援でなく、協会委員とGAが中心となって現地へのヒアリングを行い、花壇づくりや園芸相談、イベント後のお茶会に至るまで、被災地域の住民の方々に寄り添う活動を目指している。平成 24 年度からは、「たねダンゴづくり」のプログラム等を通じて、花の種からの栽培にもトライしてもらい、様々な園芸の楽しみ方を提案している。また、平成 28 年度からは熊本地震の被災地でも同様の活動を実施している。

本年度も、こうした復興支援活動を継続して実施する。

## 9. その他

### (1) 協会設立 30 周年記念事業の実施

協会設立 30 周年記念事業として、以下を実施する。

#### ① 協会ホームページの改修

30 周年を機に、協会ホームページを SNS やスマートフォンといった新しいメディアにも対応したものに改修することで、より迅速かつタイムリーな情報提供や若い世代を取り込む積極的情報発信を実現し、家庭園芸のさらなる普及と底辺拡大を目指す。

#### ② 日本フラワー&ガーデンショウにおける協会設立 30 周年記念展示

平成 30 年 4 月開催の 2018 日本フラワー&ガーデンショウ会場において、協会とグリーンアドバイザーのこれまでのあゆみや現在の取り組み、社会に貢献する家庭園芸のあり方などを象徴的に表すガーデン展示を制作し、一般消費者に協会とグリーンアドバイザーの取り組みを知ってもらうと共に、家庭園芸の楽しさや素晴らしさを伝える。

#### ③ 協会設立 30 周年記念式典の開催

以下の通り記念式典を開催する。

公益社団法人 日本家庭園芸普及協会 設立 30 周年記念式典

日時：平成 30 年 10 月 10 日

場所：アルカディア市ヶ谷

式典では、記念講演会や過去 10 年間に家庭園芸の推進や等協会の事業活動において顕著な業績を認められた個人や団体等への表彰を行う。

④ 協会設立 30 記念誌の発行

協会のこれまでのあゆみを記載した記念誌を発行し、協会会員や園芸関係団体等に配布する。

(2) 各種の行・催事や事業への参加・協力

国や地方公共団体及び花と緑の関係団体が行う各種イベント等に参加し、協力する。  
また、会員社が推進・参画する行・催事や家庭園芸普及・啓発のための事業に協力、後援する。

(3) 家庭園芸推奨品事業の検討

家庭園芸の普及・啓発の一環として、一般消費者の購入ための指針となることを目指し、「家庭園芸推奨品制度」等の実施について検討する。

(4) 会員メンバー拡大のための具体策を構築し、実施する。